

作成日 2025 年 12 月 1 日

(臨床研究に関するお知らせ)

脳血管障害・認知症・自閉症などの歯科特別対応加算対象疾患・病態で通院歴のある患者さんおよびご家族の方へ

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われるご自身（およびご家族）で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

歯科診療特別対応を要する患者における当科治療状況と病診連携の調査・分析

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座 助教 溝端 直樹

3. 研究の目的

超高齢者社会への移行に伴い、近くの歯科医院を受診または訪問歯科を利用する脳血管障害・認知症など、さまざまな病気を持った患者さんが増加しています。それに伴いそういった患者さんの抜歯、消炎処置や特別対応を要する歯科治療について、当科を紹介受診する患者さんも年々増加しています。また精神発達遅滞・自閉症などの障害を持った患者さんについては、地域の歯科医院・医との緊密な連携を前提に、当科では全身麻酔下での抜歯などの処置を行っています。これらの歯科診療特別対応が必要な患者さんの当科受診状況と地域連携の実態について、カルテをもとに後ろ向きに調査を行います。

当科でのこれまでの対応や治療実態、結果・実績などを調査により明らかにしたうえで、より患者さんのニーズに沿った対応や治療方法について考え、多職種や地域医療機関を含めより良い連携や対策などを立案、実行していくことを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2010 年 4 月から 2025 年 12 月に受診した患者のうち、脳血管障害・認知症・自閉症など、保険診療における「歯科特別対応加算」の算定要件を満たす病気、状態を有した患者さんを対象症例とします。病名や抜歯を含めた歯科治療の内容・合併症の有無、地域の歯科病院や医院との連携の結果や一連の治療過程における当院での対応などを調査項目とします。

(2) 研究期間

研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者背景(年齢、性別、原疾患(障害の程度なども含む)、既往歴、喫煙歴など)や口腔内記録(歯科病名、残存歯数、清掃状況、義歯の有無、Eichner の分類など)、治療内容(合併症の有無、特別対応を要した内容、連携、経過など)、その他カルテ上から把握できる情報です。西暦 2010 年 4 月から 2025 年 12 月の期間に診療情報に記録された情報を利用します。

(5) 方法

カルテから上記項目のデータを抽出します。歯科治療内容・合併症の有無、病診連携の転帰や一連の過程における対応について評価を行い、関連因子についても統計学的検討、および他文献との比較を行います。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学歯科口腔外科学講座

担当者：溝端 直樹

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0643 FAX：073-441-0643

E-mail：domybest@wakayama-med.ac.jp